

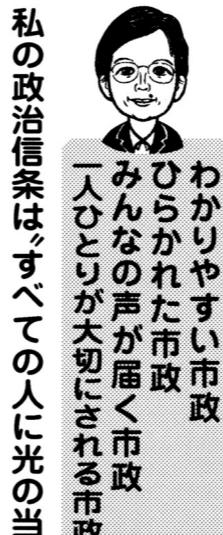
平成29年10月15日執行

## 鶴岡市議会議員選挙

## 選挙公報

躍動する鶴岡を!  
市民参加の市政を目指します!!

- ◎ 合併検証を実現し、均衡のとれた街づくりをめざします。
- ◎ 市民の創意工夫を活かした、活力ある鶴岡を創ります。
- ◎ 農家を大切にし、消費者要望をふまえた地産み育てやすい環境を整え、教育・文化の充実を図ります。
- ◎ 特色のある農業を振興します。また温泉地の観光まちづくりにつながるような「入湯税」の活用、織産業のPRにつながるようシルク議会の開催なども提言・提案します。
- ◎ スポーツによる青少年の健全育成と市民の健康新進に全力で取り組みます。
- ◎ 地球環境保全とキレイな街をつくります。
- ◎ 安心して働ける雇用環境の実現を図ります。
- ◎ 資源循環型社会を推進します。
- ◎ 市民のための公共交通と交通安全対策の充実を図ります。

加賀山 茂  
か が やまと  
● ● 鶴岡市播磨乙四十七番地  
昭和十七年一月十五日生私のめざす議員像  
市民の声が反映できるようにすること  
市政の的確なチェックと将来を見据えた提言のできる議員

私の政治信条は“すべての人に光の当たる政治を”です。

— 略歴 —  
昭和20年鶴岡に生まれる  
県立鶴岡南高等学校卒業  
東北大医学部薬学科卒業  
元厚生省  
厚生技官  
杏林堂開業  
薬剤師・鍼灸師・指圧師  
鶴岡・田川鍼灸マッサージ師会副会長

- 重点政策**
- ① 食文化創造都市の基本  
食の安全を守る
  - ② 自然環境を  
守り育てる
  - ③ 農林水産業・  
地域産業を活かす
  - ④ 育児・教育で  
人を育てる
  - ⑤ 女性・障がい者・  
高齢者も  
生きがいのある
  - ⑥ 住みよく  
地域力が発揮できる
  - ⑦ 憲法が生きる  
持続可能な  
まちをつくります

市民自治のまちづくり  
市民の声を市政に、議会に届けます。  
自分たちのまちにするために一緒に鶴岡を変えて行きましょう。

活力ある鶴岡、住みよい鶴岡に変えて行きましょう。  
“新文化会館”と同じ轍を踏まないために  
一緒にチャレンジ!  
**鶴岡**  
知恵を出し合い  
つながって行くまちづくり

市民派 渡辺ひろい  
3期目を目指す女性候補

## 行動力で市民と議会をつなぐ

## 公約① 新文化会館の運営管理について

本来の文化会館新設の狙いであった、より多くの市民が活用し賑わい創出に参加出来る環境作りを促進させ、市民と観光客が交流する場にすることを目的に、12月議会で“新文化会館の管理運営について”公正かつ明確な選定基準として「興行力」「人材育成力」「まちづくりと連携する力」を設け、第三者機関による客観的評価を踏まえ管理運営団体の発足に尽力します。

## 公約② 議会改革

議員報酬を半分に減らして議会コストを下げつつ、議員定数を増やし東北一広域な鶴岡の民意をくまなく拾い上げる。合併して聞こえてくる不公平感を改善したい。コストカットした財源は学校給食無償化にむけたい。任期の限り他議員や市民の議会改革の声を傾聴し議論を尽くすことで議会改革のエンジンになります。

## 公約③ 会派改革

無所属の無会派に席を置き活動していくが、反対ばかりせず、代案を模索し提案することで、会派関係なく地域課題の解決や、より納得度の高い市政に懸命に汗をかきます。お互いを知り認め合う仲間をつけハードからソフトを重視する現役世代中心の会派を作ります。

## 産業の振興と雇用の確保

バイオ、食、観光などによる産業振興と雇用の確保を進めるとともに、中小企業経営者の意見に耳を傾け、鶴岡の経済を支えてきた中小企業の振興、地域内経済循環の促進などを目的とした条例の制定を目指します。地元に戻り就職した学生の奨学金の返済支援についても引き続き提言していきます。また温泉地の観光まちづくりにつながるような「入湯税」の活用、織産業のPRにつながるようシルク議会の開催なども提言・提案します。

## 公共交通網の充実

日本海沿岸自動車道の整備促進、羽越線の高速化、庄内空港滑走路延伸などについて各団体とともに推進し、産業・観光の振興や災害時の交通手段確保などにつなげます。

## 地域教育の振興・子育て環境の整備

引き続き、基礎学力の向上、庄内論語を通じた道徳教育の推進、鶴岡市子ども読書活動推進計画の着実な遂行による読書のまち形成推進などに力を入れていきます。また政策提言により進行中の「天候にかかわらず遊べる屋内型遊戯施設」を含め、子育てしやすい環境の整備に努めます。

## 災害に強いまちづくりの推進

任期中に民間資格「防災士」の資格を取得し、鶴岡市の防災計画について多角的な視野でチェックを行うことなどにより、災害に強いまちづくりを進め、市民が安心安全に暮らせるようにします。

## 市民協働のまちづくりの推進

「自助・共助・公助」の考え方を大切にし、行政にまかせるばかりでなく住民が各地域で自治を行いやすいような仕組みづくりや「小さな拠点」の展開などにより、住み慣れた地域に安心して住み続けられるようにします。

## 略歴

● 鶴岡市立加茂小学校卒業 ● 鶴岡市立加茂中学校卒業 ● 山形県立鶴岡高等学校卒業 ● 一橋大学経済学部卒業  
● 昭和62年4月 ANA入社 本社経理部・大阪空港支店勤務 ● 平成11年7月 (株)尾形サービス商会(現在:代表取締役)  
● 平成25年10月 鶴岡市議会議員初当選 ● 市民文教常任委員会 副委員長 ● 新政クラブ 政調会長

三浦 そうへい  
三 浦 そ う へ い  
● ● 鶴岡市加茂字清水平281  
昭和40年2月16日生まれ(52歳)

- 【実行力・行動力で行政と市民のパイプ役】  
全力でつくします 特色ある地域づくり 鶴岡づくり
- 一、元気の出る夢と誇りのもてる活力ある鶴岡づくり  
三百億円農業産出・農水産業の活性化  
商工業の振興と雇用の創出  
先端研による地方創生  
観光と食文化・日本遺産との交流人口拡大
- 二、市民にやさしい思いやり安心・安全の鶴岡づくり  
子供を産み・育てやすい支援の充実と高齢者への思いやり  
健康長寿福祉の充実および庄内病院運営強化  
災害に負けない住みよい環境づくり
- 三、市民が一体感のもてるコミュニケーションづくり  
特色ある地域振興の組織づくり  
語り合い・ふれあいのコミュニケーション活動の充実支援  
伝統文化の伝承・振興

全力でがんばります

しぶさわ い え い ち  
しぶさわ い え い ち

まち・ひと・しごと  
夢もてる鶴岡へ!  
Challenge 46才  
～未来を担う子どもたちのために  
生涯スポーツ・武道で健康と地域コミュニティづくり～

「希望あふれる鶴岡」  
「夢もてる鶴岡」

- \* 農林水産業・バイオ産業の振興
- \* 東京五輪を見据えた観光・交流人口の拡大
- \* 子育て支援の拡充
- \* 元気なお年寄りへの仕事と生きがいの支援
- \* 高速交通網の“早期”整備促進

一生懸命! 誠実に取り組みます!

佐藤ひさき  
佐藤ひさき